

『ビジョン2030』
1st STEP
(2022年3月期～2024年3月期)

中期経営計画

ENOMOTO Co.,Ltd.

東証一部 証券コード:6928



社是

心技一体

経営理念

経営の中心は人であり、
健全なものづくりを通じて、
豊かな社会の実現に貢献する。

ビジョン2030

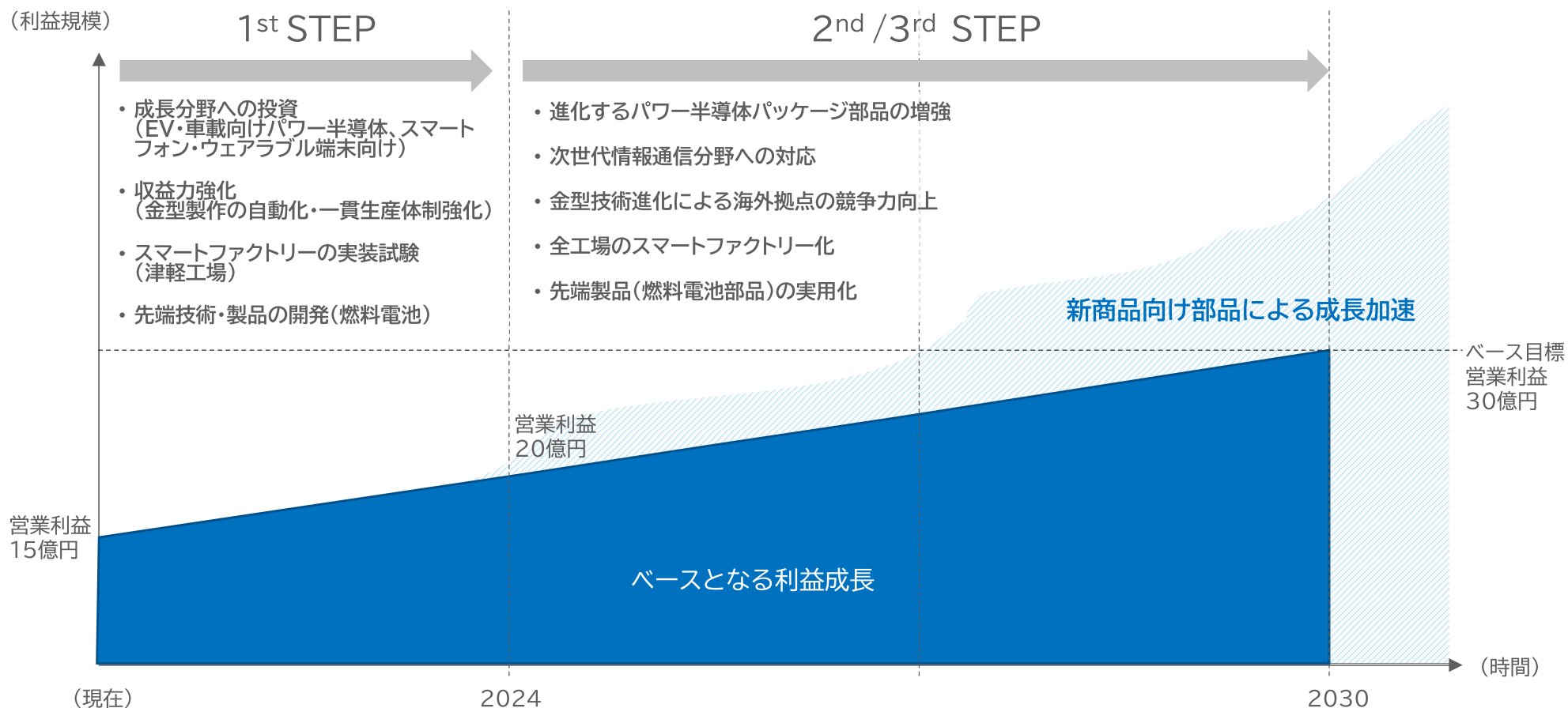
「金型の技術で未来を創る」

より小さく より速く 最先端の技術で
暮らしとビジネスのベストパートナーを目指す

ありたい姿

- 金型技術の進化で、最先端の市場に高品質な部品をスピーディに提供し続ける
- 失敗を恐れずチャレンジする職場環境づくりを通じてイノベーションを生み出す
- 燃料電池部品の実用化で脱炭素社会の実現に貢献する

- ・ ビジョン2030では、既存製品の需要拡大を見据えつつ、付加価値率の向上を軸とした各種施策で主力製品のマーケットの成長を上回る利益成長を図る
- ・ 長期的には、先端製品の需要急拡大への対応や、先端分野の研究開発を継続し、一貫生産体制の強みを活かして、次世代情報通信分野等で成長



- ウェアラブル端末等向けコネクタ、パワー半導体向けリードフレーム増産による増収
- 増収効果に加えて、自動化等により付加価値率(限界利益率)向上で、増益を計画

1st STEP 目標数値

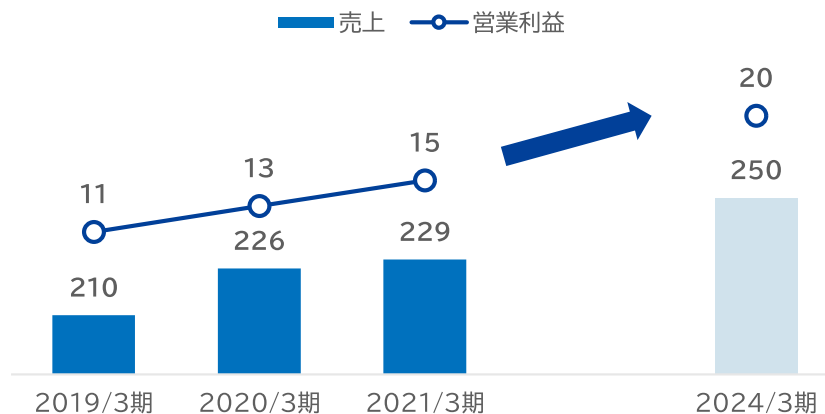


増収施策:成長分野への投資

情報通信分野(ウェアラブル端末等)
⇒ 津軽工場生産能力増強

EV・自動運転分野への注力
⇒ フィリピン工場での受注強化

売上高・営業利益



限界利益引き上げ施策

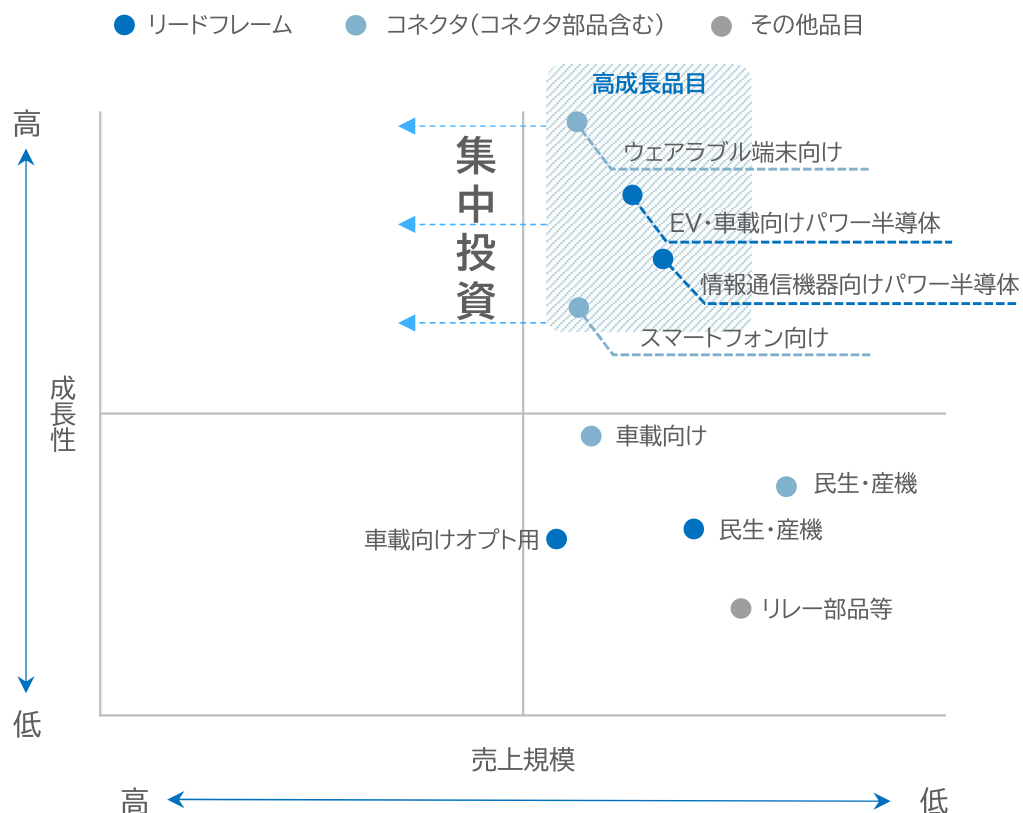
量産工程の自動化

金型製作のデジタル化

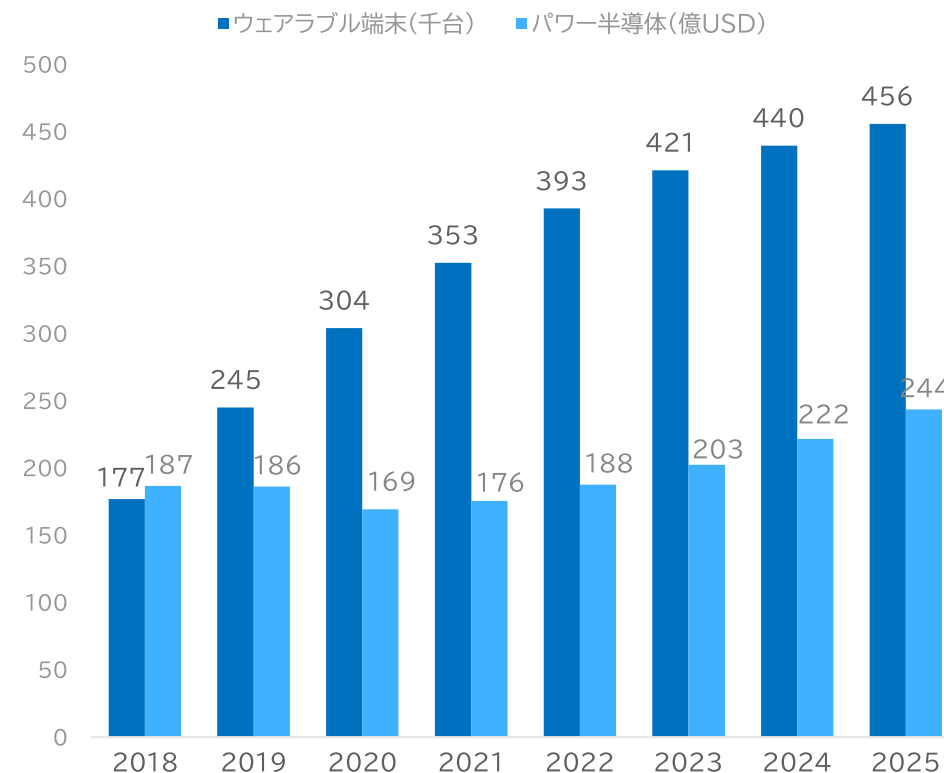
海外拠点の強化

- ウェアラブル端末向けなどの狭ピッチコネクタやパワー半導体向けリードフレームなど、当社の超精密・大量生産技術が活かせる分野に集中投資

取扱い品目の成長性



成長分野の世界市場予測

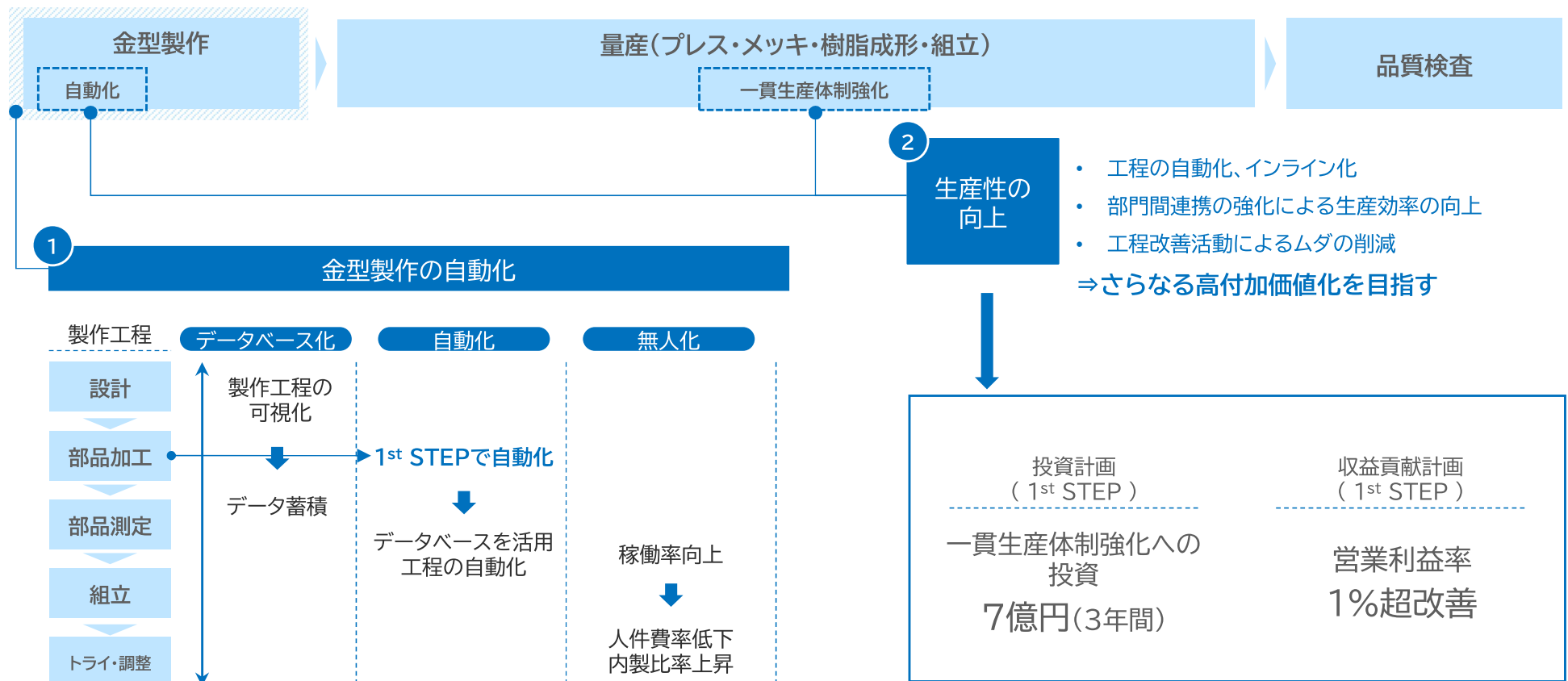


ウェアラブル端末はスマートスピーカー・スマートウォッチ・ヘルスケアバンドの合算

出所:ウェアラブル端末は富士キメラ総研「2020年 ワールドワイドエレクトロニクス市場総調査」
パワー半導体は矢野経済研究所「2020 進展するパワー半導体の最新動向と将来展望」

- 主力製品の核となる金型製作は、熟練の技術者育成に長期間かかることに加え、加工工数も多い。自動化を推進し低コスト化を実現するだけでなく、将来的に加工データを活用した技術伝承も見据える
- 更なる一貫生産体制の強化により、短中期的な収益性改善を計画するとともに、将来的な価格競争力の維持や最新の顧客需要に応える提案活動が可能となり、主力製品の付加価値向上を図っていく

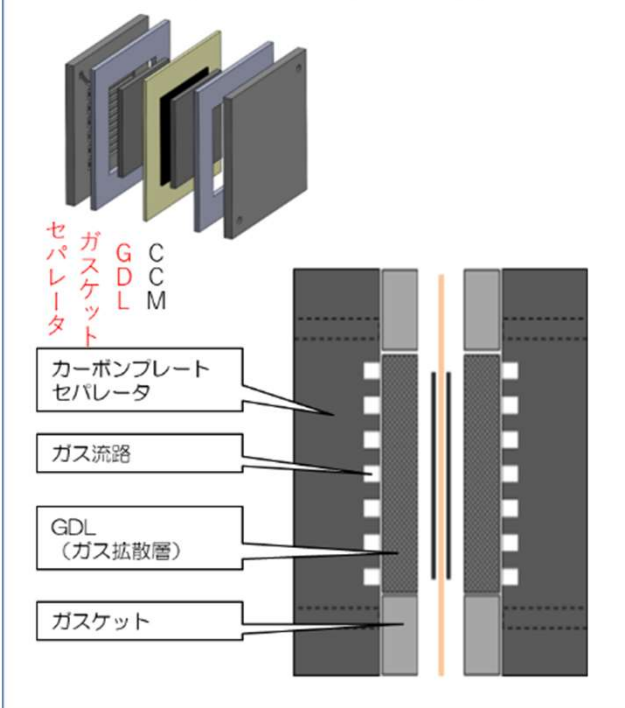
リードフレーム・コネクタの製造工程と競争力向上施策



- ・ 固体高分子型燃料電池(PEFC)向けガス拡散層(GDL)一体型金属セパレータを山梨大学と共同開発
- ・ 新開発の流路付きGDL(GDLFC+)で大幅な高電流密度化を実現、当社技術により汎用樹脂にガス流路を成形
- ・ 金属セパレータ、GDLを自社生産し、ガスソケットと一体化し、コストを削減
- ・ 2025年に燃料電池車向けのテスト開始、将来は電気自動車、ドローン、緊急電源、エネファーム等での実現を図る

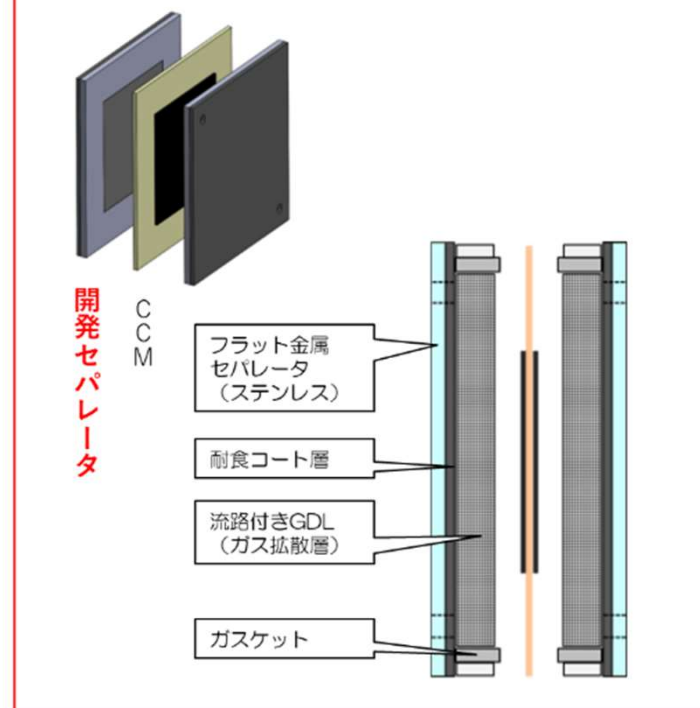
従来型セル構造

(カーボンプレートセパレータ)

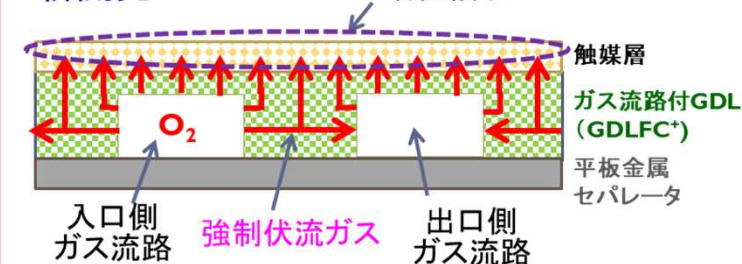


開発セル構造

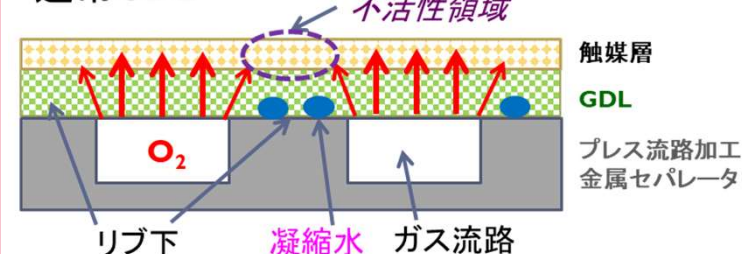
(国際特許出願中 2014-080995)



新開発GDLFC+



通常GDL



- ・メインターゲットはFCV－2030年FCV市場規模4兆7,520億円(富士経済予測)
- ・2021年3月時において特許6件(国際:4件、国内:2件)出願中
- ・量産に向け2015年比約1/10コストへの削減を目指す



- ・改良型燃料電池の製造・研究開発・実用化による、安価かつ環境に配慮したエネルギーの普及
- ・山梨県、山梨大学等と共に、産官学連携による燃料電池の研究開発の推進
- ・政府（文科省）も本燃料電池の研究開発を支援

- 設備投資は3年間で60億円～70億円(津軽工場拡張等)
- 研究開発費は3年間で3～5億円(燃料電池セパレータ)

設備投資と減価償却費及び研究開発費

設備投資額
(3年間累計) 60億円～70億円

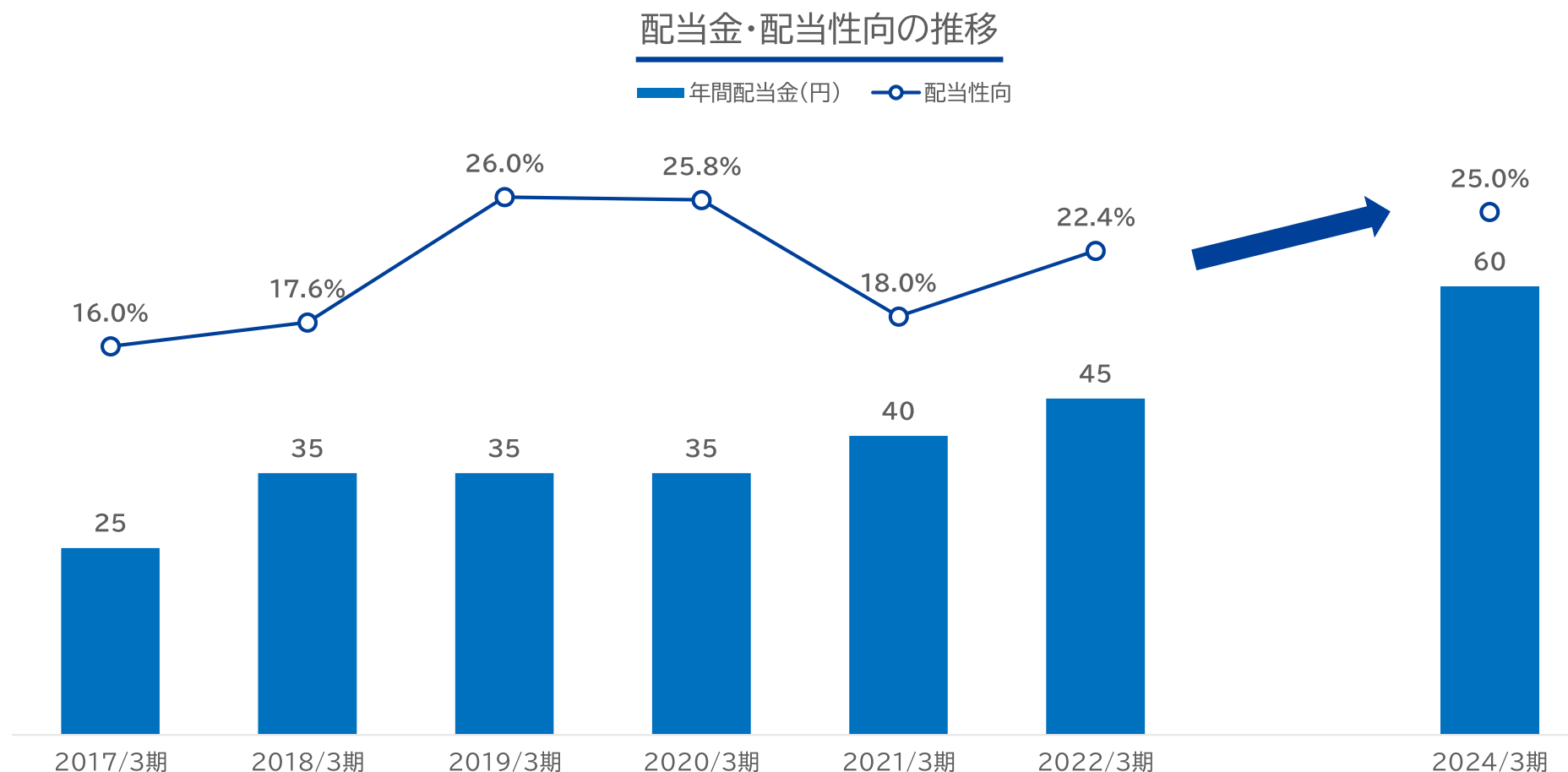
減価償却費
(3年間累計) 50億円～55億円

研究開発費
(3年間累計) 3億円～5億円

主要設備投資

- 津軽工場増築 31億円
スマートフォン・ウェアラブル端末向けコネクタの増産
- ワイヤレスボンディング仕様の
パワー半導体用リードフレームの増産 10億
- スマートファクトリー向け
デジタル投資 5億円

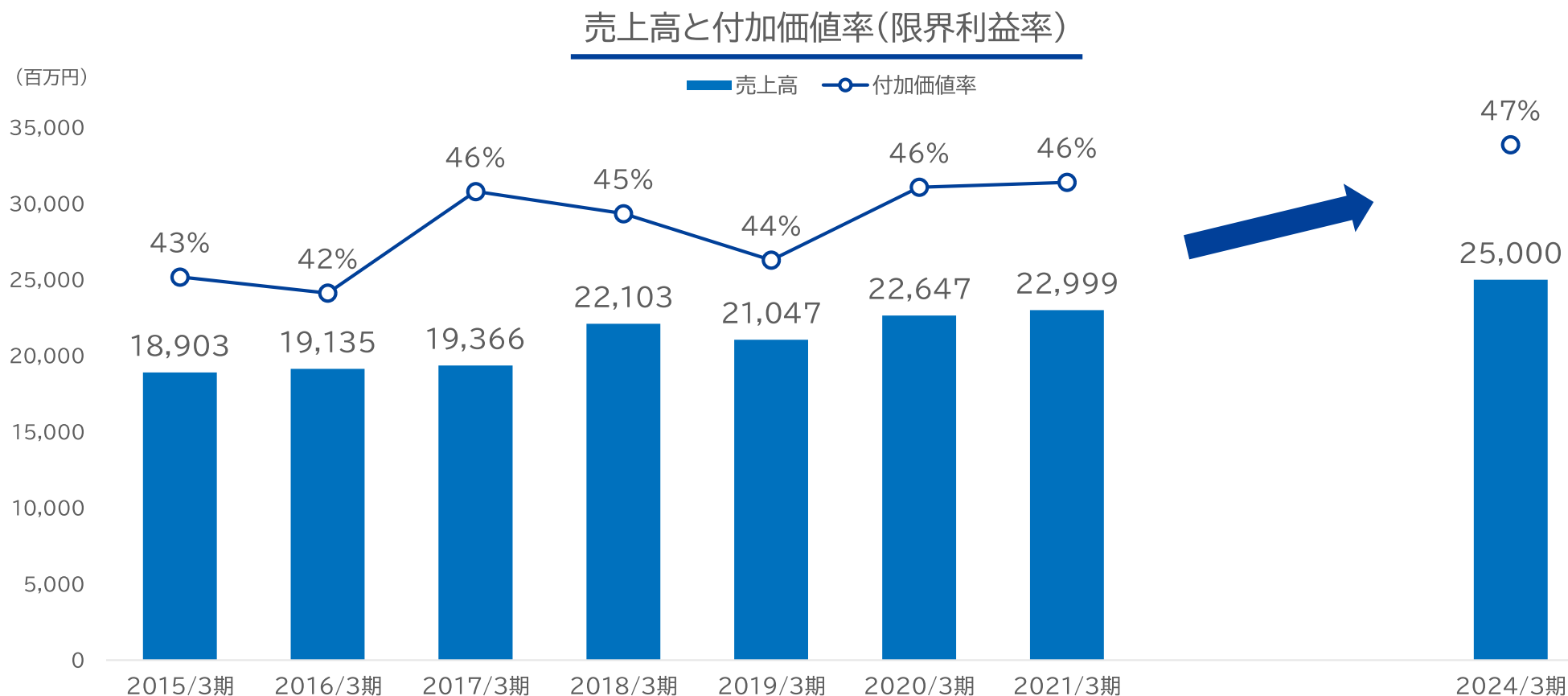
- ・ ビジョン2030 1st STEPでは、津軽工場への投資等もあり、配当性向25%を目途に安定配当を継続
- ・ 2nd STEP以降は投資状況も勘案しつつ、配当性向の引き上げも検討



重点分野	関連するSDGs	現在の取り組み	1st STEPでの対応策
脱炭素社会の実現	   	- 産官学連携による燃料電池部品開発 - 太陽光パネルの設置 - 照明の完全LED化推進	- 燃料電池部品の事業化 - 太陽光パネルの増設(津軽工場に設置予定) - 二酸化炭素排出量の測定と開示法の策定
誰もが活躍できる社会の実現	 	- 子育てのしやすい環境の整備(プラチナくるみん*) - 在宅勤務制度の実施 - 健康優良企業「銀の認定」	- 制度活用促進によるプラチナくるみんの継続 - 女性比率の向上と女性管理職の育成 - 障がい者・外国籍雇用体制の更なる拡充 - 健康優良企業「銀の認定」更新
みんなが幸せになれる社会の実現	   	- フードバンク活動 - 学習支援活動への協賛 - 地域活動、スポーツ団体への協賛 - ボランティア休暇制度実施	- 採用活動や経済活動を通じた地域との共生 - リサイクル活動強化

*プラチナくるみん：次世代育成支援対策促進法に基づき、仕事と子育ての両立支援に取り組んでいる企業を認定

- ウェアラブル端末向けコネクタ、パワー半導体用リードフレームなど高付加価値品の拡大による増収効果と付加価値率(限界利益率)引き上げによる利益成長を目指す



*付加価値=売上高-変動費(材料費、外注加工費、商品仕入れ等)

注意事項

事業の展望、業績予想等の将来の動向にかかる記載につきましては、歴史的事実ではないため、不確定な要素を含んでおります。

現在入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想と異なる結果となる可能性があることをご了承願います。